

(資料提供)

令和5年10月19日
石川県立保育専門学園
園長 大脇 修
TEL 076-242-5185

石川県立保育専門学園創立70周年記念式典の開催について

1 趣旨

昭和28年に保育士養成施設として創立された当学園が70周年を迎えるにあたり関係者が相集い、記念式典を開催し、今後の更なる発展を期する。

2 記念式典

(1)期 日 令和5年10月22日(日)

(2)場 所 ホテル金沢 2階 ダイヤモンド

(3)参加予定数 約300人

(4)次 第

13:00～ 記念講演会

講 師 東京大学大学院教育学研究科 教授 ^{えんどう としひこ} 遠藤 利彦 氏

テーマ アタッチメントが拓く子どもの未来

－「安心感の輪」と非認知的な心の発達

14:30～ 記念式典

主催者挨拶(知事、清水うめ子同窓会「芙蓉会」会長)

来賓祝辞(県議会議長)

永年勤続講師感謝状贈呈(9人、謝辞：^{みのわ えみこ} 箕輪 恵美子)

同窓会記念品贈呈(舞台幕一式、オーディオ設備一式、テント2張)

学生による喜びのことば(代表 2年 ^{おおもり あみか} 大森 明美香)

学園歌合唱

16:00～ 記念祝賀会(同窓会「芙蓉会」主催)

【 参考 】

1 学園の沿革 (別紙のとおり)

2 同窓生数 約4,100人

3 在学生数 81人 (保育学科 80人、専攻科 1人)

(別紙)

学 園 の 沿 革

昭和27年	12月9日	学園の名称を「石川県立保育専門学園」に決定する。
昭和28年	4月27日	保母養成施設として厚生労働大臣の指定を受ける(定員50人)。
	5月7日	開園式を挙げる。(金沢市広岡町) 第1回入学式及び附属保育所の入所式を行う。
昭和43年	2月21日	保育専門学園第2部増設の許可を受ける(定員60人)。
	4月7日	第2部第1回入学式を石川県立金沢中央高等学校(金沢市泉野町)で行う。
昭和44年	1月10日	新校舎竣工により学園の位置を金沢市泉1丁目3番63号に変更する。第1部及び第2部を同時に移転併設する。
	2月1日	新築落成式を挙げる。附属泉保育所を開設する。
昭和51年	10月1日	附属広岡保育所を石川県社会福祉事業団へ移管する。
昭和57年	3月10日	第1部は昭和58年度から募集人員を30人とする。
昭和58年	10月30日	創立30周年記念式典を挙げるし、同窓会より記念像「育む」の寄贈を受ける。
昭和63年	5月18日	第2部は平成元年度から募集人員30人とする。
平成3年	6月19日	第1部は平成4年度から募集人員を40人とする。
平成4年	4月1日	平成5年度から入学資格については「男子」を認める。
平成5年	11月7日	創立40周年記念式典を挙げるし、同窓会より学園歌碑の寄贈及び前庭の整備を受ける。
平成10年	12月25日	校舎の大規模修繕工事着手
平成11年	4月1日	「保母」から「保育士」へと名称が変更される。
平成13年	10月16日	学校教育法に基づく専修学校専門課程として許可を受け、第1部保育学科、第2部保育学科と改める。
平成15年	3月11日	専門士(保育専門課程)の称号の授与が許可される。
	11月9日	創立50周年記念式典を挙げるし、同窓会よりピアノ、椅子、音響設備の寄贈及び門扉の整備を受ける。
平成18年	4月1日	第1部保育学科、第2部保育学科を統合し、保育学科と改め、定員を60人とする。専攻科を新設する(定員10名)。
平成24年	4月1日	幼稚園教諭免許状(2種)取得のための支援策として、大阪芸術短期大学部通信教育部と協力関係(併修制)を結ぶ。
平成25年	11月10日	創立60周年記念式典を挙げるし、同窓会よりピアノ、あずま屋の寄贈を受ける。
平成28年	4月1日	附属泉保育所を幼保連携型認定こども園に移行する。
令和元年	9月20日	学園が高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定される。
令和5年	4月1日	幼稚園教諭免許状(2種)取得のため、豊岡短期大学部と協力関係(併修制)を結ぶ。